

令和7年12月15日（月）  
島根県立松江北高等学校  
担 当：教頭 佐々木玲子  
電 話：0852-21-4888  
F A X：0852-21-4977

## 第72回 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール 外務大臣賞受賞者による知事及び教育長への訪問

### ■内 容

国際連合についての主張を通して、国際理解・国際協力について考える機会を提供する外務省と公益財団法人日本国際連合協会主催によるコンクールです。全国から389名が応募し、予選を通過した各県代表30名が10月20日（月）に国連大学で行われた中央大会に参加し、特賞をはじめとする10の賞が決定しました。

その中で、島根県代表として参加した 島根県立松江北高等学校 3年生 林 心菜（はやし ここな）さんが、全国1位相当の特賞である外務大臣賞を受賞しました。本生徒を含めた特賞の受賞者4名は、令和8年3月22日（日）から28日（土）、アメリカのニューヨークに派遣され、国際連合本部の視察や国連関係者との懇談等を行う予定です。

本コンクールの成果報告のため、この度丸山知事及び野津教育長への訪問を下記のとおり実施します。

ぜひ取材にさせていただきますようお願い申し上げます。

### ■表敬訪問

#### ・ 教育長

日 時 令和7年12月22日（月）9:30～9:50

場 所 島根県教育庁 教育長室

#### ・ 知事

日 時 令和7年12月22日（月）10:00～10:20

場 所 島根県庁 知事室

### ■コンクール詳細

- 1 名 称 第72回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール
- 2 趣 旨 高等学校生徒に対し、国際連合についての主張を通して、国際理解・国際協力について考える機会を提供することを目的とする。
- 3 主催等 主催：外務省、公益財団法人日本国際連合協会  
協賛：株式会社 伊藤園  
後援：法務省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会、日本ユネスコ国内委員会、NHK 他
- 4 中央大会 2025年10月20日（月）（於 国連大学）
- 5 審査基準 発表時間：日本語で6分以内  
審査基準：内容（70点）、表現・態度（30点）の計100点満点

## 6 賞と特典

中央大会に出場した各都道府県の代表の中から、特賞4編、優秀賞6編を決定し、賞状・楯等を授与。

### A. 特賞（4編）

外務大臣賞、法務大臣賞、文部科学大臣賞、公益財団法人日本国際連合協会会長賞

※ 本生徒は外務大臣賞を受賞。令和8年3月22日（日）～28日（土）、アメリカのニューヨークへの視察研修に派遣され、国際連合本部の視察や国連関係者との懇談などを行う予定。

### B. 優秀賞（6篇）

特賞に次ぐ優れた主張に贈られる。

## 7 コンクールのテーマについて

以下のいずれかについて自分の考えを根拠とともに主張する。

- ①今年が国連創設80周年。分断や対立が深まる中、国連が国際社会の利益に  
応えるために必要なことは何か。
- ②あなたが国連の総会議場で自由にスピーチすることができるとしたら、何  
を訴えるか。
- ③多国間主義は、今どのような課題に直面していると思うか。多国間主義は今  
後も必要なのか。提供する。

## 8 本校生徒の主張について

上記②のテーマで以下の主張を行いました。

食品ロスを目の当たりにして

両親の営む旅館の宴会場という生徒自身にとっては身近な場所で、宴会後の20リットルもの残飯を片付けながらSDGs目標達成にむけての深刻な現実を目の当たりにした。それが、幹事の一言からはじまる「3010運動」の驚異的な効果を知るや、現場で実践するよう家族に幹事への働きかけを促したことで食品ロスを劇的に削減させることができた。この体験に基づき、知識だけでなく、私たち一人ひとりが身近な場所から積極的に行動を起こすこそが、持続可能な社会を実現する鍵だという自分の気づきや思いを力強く主張した。